

第491号 2015年1月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
 広大附高内アカシア会館
 TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 574回 例会

会長挨拶

新年おめでとうございます。会員の皆さまには良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、10月の日銀による追加金融緩和、そして11月には、消費税増税延期と突然の衆議院解散など、日本の政治経済に大きな影響のある出来事がありました。母校におかれても、1953年に日本で初めて承認され、以来最も古い唯一のユネスコスクールとしての長年にわたる活発な活動が評価され、ユネスコスクール世界大会にてユネスコスクール最優秀賞を受賞されました。また、12月3日のJAXAによる「はやぶさ2」の打ち上げ成功は、アカシア会員として、より一層喜ばしい出来事でした。

しかし、何ととっても最大の明るい

ニュースは、赤崎勇・天野浩・中村修二の3教授による、効率的な青色発光ダイオード(LED)の発明によるノーベル物理学賞受賞でした。青色LEDの発明により白色光源が可能となり「21世紀は白色LEDが世界を照らす」(ノーベル賞委員会)といわれるほどの快挙です。

2015年は、被爆70周年と言う大きな節目の年に、母校、広島大学附属高等学校の創立110周年を迎えさせていただきます。

明治35年(1902年)に広島高等師範学校が設置され、明治38年4月17日に附属高等学校の前身である附属中学校が開校され、以来、明治・大正・昭和・平成と、日本が国際社会に大きく羽ばたく時期に、1万5千人にも及ぶ有為な卒業生を世に送り出してきました。

今回の110周年記念事業については、本田和哉実行委員長(62回)を中心に、60回代、70回代が中心になって



記念事業の企画と募金活動に取り組みました。母校への寄附金(食堂改修費用)や事業協賛金のご協力をお願いする中で、地域アカシア会の皆さまには格別のご賛同・ご協力をいただき、深く感謝いたしております。

110周年記念事業をひとつのステップとし、アカシア会員一丸となって、120周年へ向け、更に大きく踏みだして参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

アカシア会会長
 向井恒雄(50回)

今年 は 母 校 創 立 1 1 0 周 年 !

本年はいよいよ記念事業本番の年です。皆様のご協力により、母校へはもちろん、地域社会への貢献を果たせることと成りました。是非、記念行事に参加し、大いに盛り上がりましょう。詳しくは同封の母校110周年記念事業特集号をご覧ください。



広島アカシア会 1月例会(574回)のご案内 ~新年互礼会~

日時: 平成27年1月17日(土) 午後1時
 場所: モーリー・マロズ(広島帝劇会館4階)
 ※開催日時・場所が通常と異なります。

「フラメンコ・ライブ」

Un Granito de Trigo 恵木奈緒美氏(76回)他

スペイン南部のアンダルシア地方に伝わる芸能「フラメンコ」を見て、新年を華やかにお迎えください。

2月例会: 2月17日(火) 午後6時30分

場所: アンデルセン(本通)
 卓話講師: 弁護士 松本京子氏(83回)

3月例会: 3月17日(火) 午後6時30分

場所: アンデルセン(本通)
 卓話講師: 蜜屋本舗(株) 明神政之氏(88回)

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(83回以降の卒業生3,000円)アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越し下さい。

2015年版 アカシア会会員名簿

好評販売中! 1冊 3,600円

2014年11月に発行した空色の表紙の名簿です。
 お求めは同封の払込票で下記口座へご送金ください。
 ①01300-4-13111「アカシア会」



Contents

会長挨拶、月例会案内…………… 1	岡山アカシア会、呉アカシア会…10
地域代表者懇談会、常任幹事会報告、 運営会費納入のお願い…………… 2	九州アカシア会、東北アカシア会、 元教官の会……………11
友誼の御園…………… 3	職域・クラブ・同期会だより…12
アカシア探検隊 勝丸恭子氏(89回)… 4	会員名簿広告主一覧、 アカシアライブラリー……………14
アカシア夜話 村上處直氏(43回)… 6	出てもらうてもええかいのお、 ミニギャラリー、事務局だより、計報…15
いろいろアカシア情報、 東京アカシア会…………… 8	12月例会レポート、会報編集委員会…16
近畿アカシア会、東海アカシア会… 9	

第7回地域アカシア会代表者懇談会

平成26年7月17日(水)広島アンデルセンで開催された。

向井恒雄アカシア会会長(50回)の開会挨拶、議事録作成者と認証者の指名、出席者紹介に続き、以下の議事について意見交換が行われた。①運営会費の納入状況について、②110周年記念事業について(各部部长より説明)、③地域アカシアの近況報告。



地域アカシア会運営状況は下記の通り報告された。

東京アカシア会：前期は黒字、活性化委員会は毎月開催、ホームページのリニューアル実施。



近畿アカシア会：収支トントン、高齢化対策で若年会員の開拓、安くて楽しめる例会に努める。



東海アカシア会：年2回例会を開催、中間層の発掘が課題、50周年を機に写真集CDを作成。



岡山アカシア会：大本築一会长(27回)を筆頭に幅広い年代層が参加、転勤等で異動が多い。



東北アカシア会：東北6県だが、移動距離が障害で参加者が少ない。東京の取組を参考に努力。



九州アカシア会：会長が入院、福岡から九州に改組後10年経過、周年事業計画に資金が課題。



呉アカシア会：4年目となる。懇親会は日曜12時から開催、110周年の観光ガイドで協力。



広島アカシア会：月例懇談会の卓話者の選出、会報月例版の購読に協力をお願いしたい。



最後に向井会長が、各会の発展祈念と110周年記念事業への協力要請を述べられ、閉会の挨拶とされた。

出席者(敬称略)：アカシア会 会長 向井恒雄(50回)、幹事長 大方幸三(46回)、事務局長 甲斐稔(63回)、事務局長 先本賢司(71回)、常任幹事 井藤壯太郎(50回)、同 小川玲子(50回)、同 中本泰弘(65回)、東京アカシア会 事務局長代行 中村英(57回)、近畿アカシア会 会長 堀内重明(50回)、東海アカシア会 会長 沖 信一(55回)、事務局長 佐藤哲郎(78回)、岡山アカシア会 常任幹事 横手靖吾(54回)、九州アカシア会 会長代理 山本哲三(61回)、東北アカシア会 事務局長 八百隆文(53

回)、呉アカシア会 副会長 奥村誠哉(49回)、広島アカシア会 会長 吉中康磨(50回)、幹事長 白井孝司(59回)、母校創立110周年記念事業実行委員会 委員長 本田和哉(62回)、副委員長 前 泰弘(71回)、事務局長 熊野義夫(58回)、広報記録部 会長 陰山秀明(63回)、行事運営部会長 木坂俊治(67回)、財務募金部会長 楳本良二(69回)

常任幹事会報告



平成26年10月27日(月)、母校大会議室で開催された。向井恒雄会長(50回)の開会挨拶に続き、次の通り進行した。<報告事項>(1)事業計画の進捗及び予算の執行状況：①会報発行、②会員名簿発行、③各地域アカシア会との交流、④学年幹事会、⑤原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い、⑥その他(i)会員データ調査の実施、(ii)母校110周

年記念事業に300万円貸付け、会員に運営会費納入依頼文と会員名簿予約用振込票送付、校旗を作成し地域アカシア会へ贈呈、少人数アカシア会(富山、北海道、紀州)の紹介(2)卒業30年目徴収会費(運営会費)納入状況

<協議事項>110周年記念事業：①母校への寄付金、事業協賛金は目標を達成。さらに充実したものを目指し、引き続き受付を継続する。母校が発行する控除証明書付領収証は対象会員に向け11月中旬発送予定。②母校主催記念式典、アカシア会主催行事(宇宙フォーラム、記念祝賀会、オープンクラス会、仲良し観光ツアー、仲良し記念ゴルフ、こどもたちのためのサッカー教室)について。③母校が発行する110年史について。④記念ガイドブックの発行について。

最後に、大方幸三幹事長(46回)が、少人数アカシア会の派生を歓迎する旨を述べられ、110周年記念行事の成功を祈念し、閉会した。

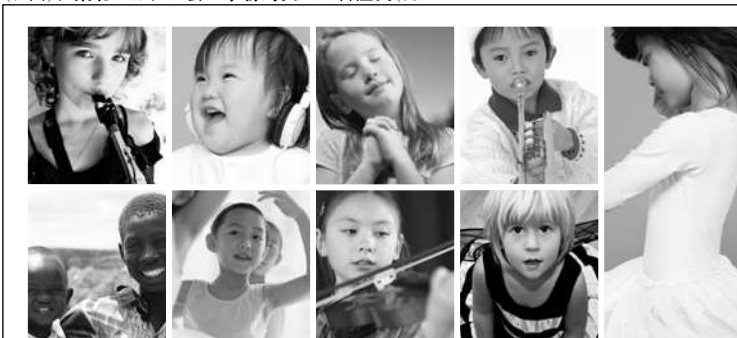
運営会費納入のお願い

アカシア会の健全、永続的な運営の為に、74回(卒業後30年)以前の卒業生全員に一万円の運営会費をお願いしています。まだ納入いただいていない方には振込票を同封していますので、是非とも会費一万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。

安定した運営体制を次世代に引き継いで行く為にも、同学年やお知り合いの方にお声をお掛けいただくようお願いいたします。

卒業回別納入者数(2014年11月30日現在) 対象会員数5887人・納入者数3604人・納入率61.2%

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	17	7	47回	157	111	62回	174	104
18回	1		33回	19	10	48回	165	159	63回	170	106
19回	2	1	34回	23	9	49回	157	110	64回	171	78
20回	1		35回	31	14	50回	172	120	65回	178	107
21回	1		36回	32	8	51回	158	137	66回	183	105
22回	1		37回	24	10	52回	165	118	67回	182	102
23回	3		38回	67	25	53回	181	114	68回	172	98
24回	3	1	39回	47	12	54回	176	97	69回	177	100
25回	3	1	40回	71	29	55回	178	104	70回	182	125
26回	4		41回	71	34	56回	173	106	71回	156	102
27回	5	1	42回	69	22	57回	173	141	72回	174	126
28回	5	2	43回	150	137	58回	165	94	73回	174	76
29回	15	6	44回	154	114	59回	184	112	74回	169	49
30回	7		45回	116	82	60回	173	94	学年ごとの納入状況をお知りになりたい方は事務局までお申し付けください。		
31回	11	1	46回	113	84	61回	181	99			



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも、私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。
Calbee

友誼の御園 ～母校だより～

ユネスコスクール最優秀賞受賞



第5回ESD大賞（主催：NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム、後援：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会・公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、株式会社社教育新聞社）において、本校はユネスコスクール最優秀賞を受賞しました。

我が国初のユネスコスクールとしての取り組みを長い歲月積み重ね、ESDの10年に際しては、校務分掌にユネスコ教育推進部を設置しました。教育活動全般を見直し、全ての教育活動にESDの視点を取り入れ、生徒が希望の未来を抱き、新しい平和の担い手となることをねらいに実践を積み重ねています。現在は総合科目「ESD」を創設し、授業とフィールドワークを一体化した合科的な実践を展開し、SSHとも連携した実践研究を持続発展させています。

「第2回科学の甲子園ジュニア全国大会」チームワーク賞

12月5日（金）～7日（日）に東京で開催された「科学の甲子園ジュニア全国大会」に中学2年生6名（吉田、上田、渡邊、杉山、十河、山下）が昨年に続き広島県代表として出場しました。

結果は47都道府県＝47チーム中、総合成績（筆記競技＋実技競技①、②の合計点）第7位、筆記競技のみでは第4位と好成績を挙げ、企業特別表彰として最もチームワークに優れたチームに贈られる、SHIMADZU（島津製作所、島津理化）賞をいただきました。



チェコ海外研修 (SSH科学技術人材育成重点枠事業) 11月16日(日)～23日(日)



プラハ城夜景

文科省からSSH科学技術人材育成重点枠事業の指定を受け、平成25年度はチェコの高校生・教員の訪問を受けましたが、今年度は本校生徒10名及び広島国泰寺高校の生徒がチェコに赴き現地の高校生と共同でESDに関係した諸問題についての調査研究、フィールドワーク、発表・討論などを行いました。テーマは「発酵・醸造、微生物およびバイオマスと環境」。チェコと日本（広島）に共通する発酵・醸造技術とその応用に関する調査研究に両国の生徒が共同して取り組み、持続可能な社会を支える基盤技術を理解する活動を通して、国際的視野を有し社会を先導する人材を育成することを目的としています。

〈事前学習〉

- 7月：プレゼンテーション講座に参加し、英語でのコミュニケーション・スキルについて学ぶ。
- 8月：日本酒醸造やバイオテクノロジーをテーマとした英語論文を生徒自身で翻訳。発酵・醸造技術とその応用についての理解を深める。
- 9月：広島国泰寺高校の生徒と合同で学習成果の発表、研修。
- 10月：江種浩文先生（公益社団法人中国地方総合研究センター・主任研究員）を講師に招いて、チェコ共和国の社会、文化、歴史、言語等について学ぶ。
- 10月～11月：広島国泰寺高校の生徒と合同で、発酵・醸造についての実習を行う。日本及び広島の紹介、本校の紹介、実習の成果等を現地で発表するために、英語版のプレゼンテーションを作成、発表練習。



校内での実習風景

〈現地での研修〉

11月16、22、23日は移動日。研修は17～21日の5日間。チェコの連携校は、南モラビア州ブルノ市ヴィシュコフにあるハイスクール・イン・ヴィシュコフ高校。ヴィシュコフ校から15名の生徒が参加し、日本の生徒とペアになって、各家庭にホームステイ。

チェコ・日本相互に学校紹介や事前に行った研究成果を発表、生物実験、メンデル大学・カレル大学・ビール醸造所での研修、チェコ上院議員や南モラビア州知事からのビールとワイン醸造に関わる国の施策についての講義など、非常に充実した中身の濃い研修を行う。



チェコでの実験風景



ギムナジウム・ヴィシュコフ校前にて

熱心かつ積極的に研修に取り組んだ生徒たちが将来、研修で得た経験をもとに国際的に活躍することを期待するとともに、素晴らしいプログラムが実施できるようホスト校として尽力して下さったヴィシュコフ校のみなさんに感謝いたします。
(研究部長 平松敦史)

情報の画面上に並ぶアイコンが日替わりだという話をされていましたよね。

勝：はい、そうですね。伝えたい内容に合わせて選んでいくのは楽しいですよ。実は先日、夏休みで2週間放送を休ませていただきました。休みが終わって仕事に戻った時、なんて楽しんだらうと改めて思いました。何をやっても楽しいな？と(笑)

中：反対に辛いこととかくじけそうになったことはありませんか。

勝：8月の大雨の時は辛かったですね。本当にくじけそうになりました。ピンポイントで予想できない集中豪雨だったとはいえ、もっと何かできたことがあったんじゃないかと思って。普段から防災士としてもっと防災の話をしておけたんじゃないか、とか。

中：放送中に頭が真っ白になったり失敗したということはありませんか。

勝：そうならないように、手元に原稿を置いています。でも、たまたま手元に無い時に限って真っ白になってしまったということはありません(笑)

加：原稿を覚える時間は何分ですか？

勝：今はほとんど時間をかけていません。というのも自分の言いたいことをメモにしているだけなので、原稿通りに読むようなことはありません。どんな言い方でもいいから自分の言いたいことが言えたらいいと思っています。

加：気象情報に季節の話題などを入れたりするのは自分で選べるんですか。



勝：はい、私が考えています。自分の中に蓄積されている情報を引き出した、り、足で歩いて見つけた情報だったりします。

加：ブログのネタ探してみたいですね。

勝：そうそうそう(笑)私は取材中に見つけたことや放送の裏話などを、NHKのブログに書いています。ほぼ毎日更新を頑張っています。

加：ちなみに服装はテレビに出るようになって変わりましたか？

勝：すっかり変わってしまいました！！好きな色は茶・黒・灰色…だったりしましたが、それではテレビ画面が暗くなります。特に男性アナウンサーは黒とか紺が多いですから、隣に並ぶと余計に暗くなります。だから普段私はあまり着ないけどな？と思いながら明るい色のものを選んだり揃えたりします。そう考えたら服装の趣味は変わったかも知れませんね。

加：好きでというよりも、変わらざるを得なかったという感じですね。

勝：そうですね。周りの人やその日の天気にあわせて服装を選んでいきます。

中：街で声を掛けられたりしませんか。

勝：だいたい50代以上くらいの方が多い感覚です。いつも見よるよ！と言われるとうれしいですね。若い方はあまりNHKをご覧にならないでしょうか？？笑

中：それでは在校生にメッセージをいただけますか。

勝：附属で学んだことという、やはり自由を手にするためには責任が必要なんだということです。責任が持てないと規律を課されてくるんですね。だから自由であるためには責任をきちんと果たしていなくてはならないんですよ。それはやるべきことをきちんとしてきた先輩方があったからだと思いますが、附属に入って一番、すごいなと思ったことです。

中：気象予報士として何か一言お願いします。

ます。

勝：もう少し空と仲良くなって色んなことに気付く力を持ってもらえたらいいなと思います。空を見上げたり、天気予報に少し興味を持ってもらうことで、「異変に気づく」はやさがいづらか変わってくると思うんです。そのためにも、楽しんでもらえる、役立つ天気予報を目指して頑張ります。

中：アカシアの先輩方にもお願いします。

勝：おかげさまで今いろいろな所で講演に呼んでいただいたりするんですが、アカシアの方にたくさんお会いさせていただいています。本当にいろんな分野でご活躍されていらっしゃるんだなと改めて思っていますし、ありがたいことだなとも思っています。

加：最後に何かひと言PRをどうぞ。

勝：ぜひテレビとブログを見てください。夢は、ズムスタでの始球式です！(笑)

中：それならこれをご覧になった先輩方に叶えてもらえるかも知れませんよ。今日はどうもお忙しい中をありがとうございました。

.....

加：えらくご近所でしたね、今回は。

中：次はどうかかわからんで。

加：謹んでご遠慮させていただくというのは難しいんですかねえ。。

中：どうにも逃げられやせんのじゃけえ、ええかげん素直にあきらめんさい(笑)

中本泰弘 (65回)

加用雅信 (80回)



左より 中本泰弘(65)、勝丸恭子氏(89)、加用雅信(80)

TATESHIBA

タブレット学習システム
スタディネット
STUDYNET

BIG PAD

株式会社 立 芝
http://www.tateshiba.co.jp

アカシア夜話

アカシアンナイト
第12話

(防災について考える)



平成26年8月20日に局地的な豪雨によって発生した、広島市の土砂災害は、広島市安佐南区山本地区、緑井地区、八木地区と安佐北区可部地区で合計74名の死者を出し、全壊家屋133戸(西区の1個を含む)、半壊家屋122戸など、未曾有の大災害になりました。

アカシア会員についても、42回の立川洋二さん、69回の竹内重喜さんのお二人が亡くなられた事をはじめ、多くの方が被災されました。

現在も大きな苦難を抱えられている方が、一日も早く平穏な生活に戻れますよう、祈念いたします。

今回はこの土砂災害を受けて、「アカシア夜話」の視点を少し変え、防災について国を代表する研究者の一人である村上處直(すみなお・43回)さんに、これまでの研究の足跡などとともに、防災に対する基本的な考え方をお聞きました。

附属の頃

甲斐：お生まれは名古屋なんですね。**村上**：そう、僕が小学校にあがって、1年生の2学期から、父が広島高等師範学校の天文学教授になるために、広島にやって来た。当時、天文学教室は、東大、京大と、広島高等師範学校にしかなかったから、喜んでたね。当時父はまだ30代で、高等師範学校教授は附属小・中学校の教官の師学監だから、若造が古手の教官を監督するというので、附属小学校の頃はお年寄りの先生にいじめられたような記憶がある。それに、一つ上の姉、**芳野**がとても優秀だったから何かというと比較された。4年生の時には担任の先生が変わって、名前を「シヨチ君」って読み違えたもんだから、それからずっと同級生からは「シヨチ」と呼ばれることになったんだ。もう処置なしだよ。難しい名前を付けたのは僕のおじいさんで、鹿児島旧制第七高等学校の教授だった。大学も出ていたわけじゃないのに物理・天文学の教授で、イギリスの学者と波動論でけんかを吹っかけていたらしい。日本を一步も出たこともないのに7ヶ国語くらい読み書きができて、喋っててもいた。植物や昆虫の事なんかめっちゃめっちゃ詳しくて、昭和天皇陛下が若い頃の雑学の先生だったらしい。そういうおじいさんだから「處直」という難しい名前を付けたんだ。**甲**：中学で石井(泰行)さん(アカシア会名誉会長)や児玉(幸治)さん(元通



八木地区の土砂災害

産省事務次官)達と一緒にになれるんですね。**村**：クラスは違ったんだけどね、僕はまじめな人が多いA組だけど、**児玉**君はやんちゃなE組。面白いからいまだにE組のクラス会に参加してる。**甲**：中学から5クラスだったんですか？**村**：理由はよく知らないけどそうだったね。運動神経もたいしたことないし、足も遅かったけどサッカーばかりやってたね。

高山研究室

甲：横浜国立大学の建築科を卒業後、東京大学の大学院に進学されたんですね。**村**：数物系大学院の建築音響の教室だった。広島にも僕が関わった体育館があったよ。修士はそこで取ったんだけど、教授が定年退職になり、1962年に近代都市計画学の創始者と言われる高山(英華)先生の研究室に入った。国や都の方から防災問題の会議に人を出せとか言われると、高山先生は、先生が委嘱されている委員の役割を、すべて僕に行ってもらって言うんだよ。研究室に入って間もない頃だから、「何も分かりませんよ」と先生に言うと、「僕が行けって言うからには君が第一人者だ」と。面白いやつが来たよと任せてくれたんだね。結局、高山先生が研究室に残れと言って、そのまま都合10年東大に居た。35才まで、もう大学院を2回やったようなものだよ。その頃になったら僕が居なかったら東京都防災会議だって、自治省の消防審議会だって何も進まなくなっていた。大学卒初任給が1万2千円位の時に、高山先生がポケットマネーから5万円も出してくれた。その間、忙しくて何も論文が書けないでいたんだけど、認めてくれていたんだ。

江東防災拠点再開設計画

村：1970年の大学院在籍中に、建築研究所の中に部屋を借りて防災都市計画研究所を立ち上げた。1964年の新潟地震後、国も東京都も都市防災対策を始めようと



P r o f i l e

村上 處直氏(43回) 略歴

- 1935年 名古屋市生まれ
- 1960年 横浜国立大学工学部建築学科卒業、東京大学数物系大学院入学
- 1962年同大学院博士課程から都市計画の高山研究室で都市防災をはじめ
- 1965年東京大学工学部都市工学科高山研究室研究員
- 1970年防災都市計画研究所設立
- 1982年サンフランシスコ・ロサンゼルス地震対策アドバイザー
- 1984年アメリカカリフォルニア州SCEPP顧問
- 1985年アメリカカリフォルニア州BAREPP顧問、東京大学 工学博士、広島大学 工学部非常勤講師
- 1986年早稲田大学理工学部非常勤講師
- 1987年関東学院大工学部非常勤講師
- 1988年横浜国立大学工学部教授
- 1996年横浜国立大学大学院工学研究科教授
- 2000年3月同大学退官
- 2001年防災都市計画研究所代表
- 2002年早稲田大学教授(専任客員)
- 2005年3月同大学退職
- その後 日大生産工学部 非常勤講師
- 2010年 退職



江東防災拠点

していた時期で、東京都江東デルタ地区に6カ所の大きな防災公園が出来る事になったんだけど、その計画の始まりは僕の報告書からなんだ。関東大震災級の災害が起ると、昔の木造密集市街地が燃える時の輻射熱は、300mくらいの空き地が無いと延焼を止められない。桁違いなものだった。東京都の江東防災拠点再

開発計画の推進のプランニングボードに中心メンバーとして招聘されて、白鬚東防災拠点再開発を計画した。隅田川の岸辺に東白鬚公園っていうのを作って、大規模火災が起きた時に、東側の低層な密集住宅街の人たちを公園に逃がしたいんだけど、輻射熱を遮ってやらないといけない。そこで13階建ての住宅団地を1.2kmの連続した防火壁みたいにした。さらに、東側のベランダにシャッターが下りたりするんだけど、火災でガンガン熱が来ると中から燃え始めてしまう可能性があり、人が公園に逃げる為には防火壁の住宅が燃えちゃあだめなんで、それでシャッターの外に水をかける事を提案した。まあ、防災の研究って、机の上でいくら考えてもだめで、災害現場に行っているいろいろ聞いたり、過去の実例を調べたりしていると、比較的簡単に色々な事を思いついて、良い発想ができるんだよ。この白鬚東の事業は工事費の3割アップを大蔵省に申し入れ、獲得した3割アップに相当する新しい計画を練るのだけれど、大手設計事務所のメンバーでは新しいアイデアが出ない。結局、専門家の知恵を借りながら、殆ど僕一人で進めて行った。

人との出会い

村：初めて僕が海外の災害現場に単独で行ったのがニカラグアなんだ。朝日新聞の特派員という立場でね。高山先生が「一人で行くって死んでもわからないぞ」というので、昔、防災計画研究所の副所長をしていた平井君と二人で行ったんだ。現場を回るのに、大使館が出してくれた許可証を持って動いたけど、レベルが低いので、家の中まで見る事が出来ない。そこで、当時の大統領のソモサ氏の私邸まで、もっと全部見えるようにしてもらおうと掛け合いに行った。庭で地震の後処理のため、毎日円卓会議をやってるんだけど、スペイン語もわからないし、門番に阻まれていたら、百瀬恵美子という、メキシコオリンピックで日本の女子選手村の村長をやった人が出てきて、うまく紹介してくれた。村長をやった時はメキシコ大学のスペイン語科の学生だったそうなんだけど、一番若くて女性だから世

界中のVIPが彼女のファンになったらしい。そうしてニカラグアでうまく調査が進んで、その後の地震でも一緒に組んで色々な所に行った。1985年のメキシコ地震の時も、百瀬さんが紹介状を事前に送ってくれているから、現地では僕が何者かとよく理解していて、到着したらVIP待遇で、建設大臣なんかも待ち構えていた。彼女は本当に世界のVIPと友達だからね。

横浜国大の教授になった時、国立大学の教授は、地震だからってすぐには現地に飛び出すという訳にはいかないんだ。それを、四谷の飲み屋で一緒になった阿部充夫さんという当時の文部事務次官が、どうやったら飛び出して行けるか相談に乗ってくれて、横浜国大に出向している文部省のトップの事務官に電話してくれた。それで大学に帰って「聞いた?」とか言ってね。振り返ってみるといろんな人との出会いが、僕の支えになっているんだ。甲：お人柄が人を引き寄せるんでしょうね。

防災は可能か?

村：海外で「防災計画…」という肩書の名刺を出すに必ず言われることがある。災害そのものを完全に防ぐのは不可能なのではないかという事なんだ。日本語では「防災」と言うのだけれど、「減災」と言った方が正しいのだと思う。甲：全く被害なく災害をやり過ごすのは無理だという事ですね。村：災害が起きると、土砂崩れだと砂防ダム、噴火だとシェルターのようなものを作って、対策をしたと言いがちなんだが、それでは全く不十分だ。大規模な災害が起こった時には多少の役には立つでしょうが、被害を全く食い止める事が出来るかと言えば、おそらく無理だと言わざるを得ない。大切なのは「己を知る」という事なんだ。今回の大規模土砂災害で言えば、山際に住んでいれどどういう危険があるか地域の人たちが良く認識して、予め災害が起きた時にはどうやって助かるか、対策を考えておくことです。それとちょっと大事なのは、山の面倒を見るという事です。面倒を見ていれば山の状態もよく分かるし、時間はかかるけれど保水力を高めたり、

崩れにくいような山になるよう手を入れる事もできる。もちろんどういいう危険があるかも、よりよく分かる。これは結構手間のかかることなのだけれど、神戸あたりではうまく機能しているんだ。阪神淡路大震災によって、六甲山系は地中に多くのひび割れが生じていて、土砂災害が起こる可能性が高いと言われているのだけれど、六甲山では住民がNPOで、ボランティア団体を作って山の手入れをしている。山持ちが一人じゃできない事を皆でやっている。ここは防災林にしようとか。それだけじゃなくて山全体をなだめる。弱点を知って、水の流れがあるところは、うまく水抜きをしてやるとか。本当に泥と水は怖いよ、山が崩れる時はすごい迫力だものね。甲：地道な事だけれどこういう事が、災害の際、被害を減じる手立てになるのでしょうか。



八木地区の調査 中央が村上氏

編集を終えて


村上先輩は、杖をついてはおられるものの、一旦、大事が起きればすぐにでも飛んでいくぞという迫力をお持ちの方です。そして、色々なことに興味津々で、お話を伺っていても気になることがあるとすぐに質問が飛んでくる。この興味津々なところが、災害現場で一見小さな事柄も見逃さず、現実には即した提言をされる源なんだろうなと思いました。

でも、話がどんどん飛んでいくので編集がとても難しく、先輩の思いを十分伝えられたとは、とても思いません。力不足を思い知らされました。

文責・編集：甲斐 稔(63回)

編集補：吉野かおり(79回)

医療法人社団 朋和会
西広島リハビリテーション病院
 3病棟139床で365日毎日高密度な入院リハビリを行う専門病院です！
 (財)日本医療機能評価機構認定病院
 介護老人保健施設 居宅介護センター 訪問リハビリ 健康開発センター
 〒731-5143 広島市佐伯区三宅 6-265 TEL: 082-921-3230
 URL: http://www.welnet.jp/ FAX: 082-921-3237
 病院長 岡本 隆嗣(84回生) 理事 林 篤彦(39回生) 医師 岡田 昌信(63回生) 医師 今村 世津(85回生)

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院

 理事長 荒木 攻
 院長 沖 修一
 事務部長 松下 督克(75回)
 麻酔科 森川 真吾(79回)
 理学療法士 栗原 彩子(93回)
 広島市西区庚午北2丁目8-7 TEL 082(272) 1114
 http://arakihp.jp/

いろいろアカシア情報

- ◆東海アカシア会総会 2月15日(日)に総会を開催。詳細は下記事務局へお問い合わせください。
- ◆呉アカシア会第9回例会 日時：2月8日(日)正午～ 場所：呉阪急ホテル(呉駅前) 講師：気象予報士 勝丸恭子氏(89回)
- ◆43回同期会 4月18日(土)18時半より、リーガロイヤルホテル広島3Fに

- て開催。会費1万円。 代表幹事：後藤吟子 Tel.082-273-0582
- ◆55回同期会 4月18日(土)18時半より、ANAクラウンプラザホテル広島3Fアカシアの間にて開催。 問合せ：長谷川和也 Tel.082-281-3863
- ◆65回同期会 4月18日(土)18時半より、ホテルサンルート広島にて開催。 代表幹事：末田郁子

河野俊嗣氏(73回) 宮崎県知事に再選

昨年12月21日投票された宮崎県知事選で、現職の河野俊嗣氏(73回)がみごと再選されました。投票率も前回より3.92ポイント上回り、広く県民の支持を得られ、対抗する新人2人に大差を付けての勝利でした。今後の益々のご活躍をお祈りします。(写真：宮崎県HPより)



各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定	地域	会長	事務局	行事予定
東京	的川泰宣 (50回)	〒182-0023 調布市染地2-30-3-105 中村 英(57回) TEL042-485-6600 Eメール nkmred6e@gmail.com	春と秋に 総会と懇親会 次回は5月30日(土)	広島	吉中 康彦 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日(原則として)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL090-3055-5108 Eメール okakunichan@nifty.com	総会6月と12月 次回は6月7日(日)	九州	山本哲三 (61回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会10月頃
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月 次回は2月15日(日)	東北	野尻 久 (33回)	〒305-0051 つくば市二の宮4-1-15 八百隆文(53回) TEL090-6532-9547	懇親会 不定期 (昨年度は7月と11月)
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区内山下1-1-13 楳大本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日	呉	大之木精二 (43回)	〒737-0079 呉市上平原町14-33 殿村 礼子(52回) TEL0823-23-9728 Eメール kureakasia.tonomura@gmail.com	8月と2月に 総会と例会 次回は2月8日(日)

東京発 東京アカシア会 平成26年度秋季懇親会

素晴らしい秋晴れの11月23日(日)、平成26年度秋季懇親会が、東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。母校から古賀一博校長先生、砂原徹副校長、アカシア会より向井恒雄会長にご出席いただき、35回から104回卒業年次を含む総勢98名の参加者が集いました。

まず、的川泰宣東京アカシア会会長からご挨拶をいただき、東京アカシア会則の一部改正を行って役員に関する規定を追加し、任期は原則5年とすること、および来年春の総会で会長が福田眞氏(55回)に交代することが報告されました。続いてこの半年間に亡くなられた7名の方々、ならびに広島土砂災害で被害に遭われ亡くなられた方のご冥福をお祈りし黙祷を捧げました。



的川会長

そして懇親会へ。瀬田幸敏氏(35回)のご発声で乾杯をおこない、まずは各年代別に分かれたテーブルにて親睦を深めました。

今回は多様な分野で活躍する附属卒業生に光を当てる企画を考え、湯崎英彦広島県知事よりいただいたビデオメッセージを上映、更に有名ゲームメーカーでご活躍の中西一彦氏(72回)にご登壇いただきました。

懇親会中盤には参加者が母校在学時にお住いの地域別に席移動をおこない、各地域の今昔の様子を語り合い、



全員で肩を組み校歌斉唱



景品当選者の喜びの姿

世代間の交流も活発となりました。その後の抽選会では、カルビー様、広島カープ様、サンフレッチェ広島様、円谷プロ様、母校校長室などからご提供いただいた賞品をかけて大変盛り上がりしました。賞品ご提供をご快諾いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

終わりに全員が輪となって肩を組み校歌を斉唱。最後に広島より駆けつけていただいた榎本良二氏(69回)の音頭で「フレイ・フレイ・ア・カ・シ・ア！」のエールを響かせ、大盛況のまま閉会となりました。来年度の春季総会・懇親会は5月30日(土)の開催です。

12月4日記 佐々木正雄(83回) 撮影：上野谷将也(83回)

福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya

福屋広島駅前店

近畿発

近畿アカシア会後期総会



後期総会を12月7日(日)大阪阪第一ホテルで開催した。

第一部の司会は皇暢子さん(46回)にお願いし、堀内重明会長(50回)の開会挨拶に続き、来賓としてアカシア会長の向井恒雄氏(50回)から110周年を迎えるにあたっての寄附の状況等の紹介があった。なお、堀内会長から、学生参加者の遅刻で開会が遅れたことに対し「時間を守ることが社会人としての基本

的マナー」との苦言が呈されるシーンもあった。その後、最年長の香川昇氏(38回)のご発声による乾杯へと進んだ。

会食からの司会予定者が急遽欠席となり、やむなく岡(57回)が司会を担当するところとなった。今回出席者は来賓を含め25名だったので、出席者のスピーチを主としたプログラムを目論んだ。その中から何人かスピーチの一端を紹介しておこう。

香川昇(38回)：広島広瀬神社に伝わる御輿担ぎの名調子を披露。昔は意味不明だった歌詞が、伊勢神宮の祭神に由来するとのこと。日下善道(45回)：在学中、サッカー班の第二期黄金時代のインナーとして岸和田高校との引き分け優勝経験。そのときの両チーム指揮したのが故長沼健氏とともに第一期黄金時代を築いた樽谷恵三氏(39回・附高)、木村現氏(39回・岸和田)だった

因縁。生塩之敬(46回)：父の実家に疎開中で原爆の難を免れる。中学校の恩師の奨めで附高初の外部受験枠10名に合格。テレビのベン・ケーシーに憧れ脳外科医に、でも現実は何？高東尚子(50回)：ヨーロッパ在住が長く、ヨーロッパで訪れてない国はないほど。目下、津軽三味線特訓中。川上操(57回)：2700戸(9000人規模)のマンション群自治会長で超多忙生活。下田純弘(64回)：今年のエポックは会社がインドの財閥企業に吸収されたこと。

その後、福引きでは、1等から3等までの銘菓に加え、特賞として向井会長からカーブカレンダー3本、上野徳恵さん(45回)から銘酒「大号令」も提供され、恒例のアカシアソング斉唱で閉幕。12月12日記 岡 國太郎(57回)

[前出以外の出席者] (38)川本和良、(43)水村雅子、(46)見門忠雄、(62)豊島秀郎、(63)勝丸浩之、(64)田頭史明、徳丸義也、(99)福島晴香、(101)小林恭子、(103)渡川ゆり子、行広侑真、棟田修平、棟田純平、二宮廉

東海発

東海アカシア会・豊葦会 ビール会



東海地区に縁のある会員により、9月28日、レストラン「バックナール」にて、ご来賓として本部から吉中康磨アカシア会副会長(50回：前席左から3席目)をお迎えして18名+同伴2名が集まりました。今回初の試みとして、携帯端末ipadのFaceTimeを使って、本会の最年長、西田節子さん(豊葦会26回)がテレビ電話で参加され、吉本幹彦さん(41回：6席目)のご発声で乾

杯。沖信一会長(55回：4席目)からご挨拶、吉中副会長から110周年行事の紹介をいただいた後、近況紹介をしました。今回も子供連れで参加されたのは黒田直子さん(87回：1席目)。齋藤蕨さん(48回：5席目)は江戸城天守閣の再建活動の進捗、兼川徹さん(48回：7席目)は避難勧告の体験談を語りました。いつも写真を撮って下さるのは中村博之さん(43回：立席左から1人

目)。成瀬まり子さん(65回：同2人目)はお子さんが広島に進学されました。宮川隆吉さん(57回：同4人目、以降順に右へ)の趣味はテニス。花岡正紀さん(48回)はお気に入りのセサミストリートのパートについて。安田健一さん(59回)はアカシア同期会の話。田中秀孝さん(59回)は宇宙開発について。奥村真一さん(72回)はナゴヤドームマラソンの参加談。服部清美さん(72回)訳の新刊は「マンブル、ほくの肩が好きナフクロウ」(河出書房)。山下寛泰さん(93回)はお子さんの誕生について。坂本利彦監査役(55回)は砂糖づくりについて。梶幸一朗事務局次長(81回)編曲の新作CDは、「Toshiyuki Kato op.1」(愛知室内オーケストラ)。最後に校歌・学生歌を合唱してお開きとなりました。

次は、2015年2月15日(日)に総会を開催しますので、是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

9月28日記 佐藤哲郎(78回)

土地・建物の価額査定／適正家賃・地代の査定
相続税法改正に伴い資産査定はより身近なものになります

広島合同鑑定株式会社

代表取締役 三宅 功 (76回)
(不動産鑑定士・一級建築士)

〒730-0806 広島市中区西十日市町6-8
TEL 082-293-6211 FAX 082-232-0206



和尚 守屋佑光(82)

アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円

岡山発

第58回岡山アカシア会



ぞ同窓だ」と感じたことや、日赤前の校地の周囲にアカシアの木が植えられていたこと、加藤修司先輩は、高校名に地名を入れよとの文部省の

恒例の懇談会が2014年11月8日(土)岡山プラザホテルで開催されました。広島からの110周年記念事業実行委員長、本田和哉氏(62回)の「準備は順調で、今回は寄付をもらいに来たのではないから、安心して」との挨拶に笑い声が上がりました。池田章先輩は開会の挨拶で、アメリカから帰ってきて参加した岡山アカシアの温かさを「これ

通達で、戦後の一時期「東千田高等学校」になっていたことを。近藤みち子さんは社会活動が認められて今年叙勲の栄。出色は60回の方々と、アメリカ大使の佐々江賢一郎さんや世界銀行の式部透さんを訪ねた昨年のワシントン集合に続いて、今年のスウェーデンでの同期会、来年はハワイ島の天文台での開催を計画中。概して先輩の方々の

元氣一杯ぶりが印象的でした。車内でちょっと話した言葉が広島弁だったことから「あんたあ、どこの高校ねえ?」と尋ねたら、広大附属と返事があったので「ほいなら、アカシア会においてえや」ということで初めて参加した方もあり、会場内では広島弁が炸裂。今年から校旗も飾られ、懐かしかったです。今春卒業のほやほやの方も含めて、初めての参加者が6名あったのも嬉しいことでした。

2015年も11月14日第2土曜日に一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。

11月14日記 青木三恵子(61回)

[参加者] (36)池田 章、(47)加藤修司、(52)佐々木洋三、近藤みち子、(53)大田 淳、(54)今石瑞枝、横手靖吾、米倉靖子、(57)馬場正重、岡 國太郎、(59)田中裕二、(60)石原和典、(61)青木三恵子、吉川尚子、(63)田中信行、(68)清水幸登、飯塚良昭、(69)山内泰子、(70)戸板富久子、植田美穂子、(72)沖原 巧、(77)田中久子、(79)稲垣美穂、藤川純子、村瀧 剛、(83)真谷知恵、(85)谷 真規子、加地裕子、(104)吉井遼真

呉発

呉アカシア会 総会・第8回例会



との挨拶がありました。引続き榎本良二氏(69回)より記念事業の目玉の一つである母校食堂改修用寄付金が目標額以上集まったと報告されました。奥村誠哉幹事長(49回)より25年度の事業報告及び26年度の活動計画として2回の例会を行う予定について説明後、殿村礼子幹事(52回)より会計報告を行いました。次に、谷田部広志監事(65回)が、井門和俊監事(54回)と監査の結果、適性に処理されていることを報告し、事業報告を含めて満場一致で承認されました。

皆様楽しみにしていた8月10日の例会は、思わぬ台風11号の瀬戸内海通過で泣く泣く中止となりました。その後多くの要望があり、冬の寒さを少し感じる11月16日(日)呉阪急ホテルにて33名の参加により平成26年度総会と第8回例会を開催しました。初めに大之木精二会長(43回)より「景気好調から変化があり国会の動きも激しくなる一方、110周年事業の準備は皆さんの協力で順調に進み、より一層の支援を。」

懇親会では特別講演として竹鶴寿夫氏(49回)よりNHK朝ドラ最高視聴率で大人気の「マッサン」の裏話やロケ中のエピソードとして初めての外国人ヒロイン役のシャーロットさんが320

人以上の外国人女優のオーディションを見事クリアし、日本語は全くダメでも演技力と日本への思いで選ばれたこと、泉ピン子演じるマッサンの母親役早苗は「本当はあんな意地悪ばあさんではなく、温かく外国人の嫁を迎えました。」との愉快な話に大爆笑の場面もありました。堀川重幸氏(47回)の音頭で乾杯の後はそれぞれのテーブルでの懐かしい友との楽しい歓談、初参加の方の紹介と校歌斉唱、記念撮影そして恒例の榎本応援団長によるエールの後に閉会となりました。

なお、次回は2月8日(日)正午より呉阪急ホテルで第9回例会を開催します。

11月19日記 谷田部広志(65回)

[前出以外の出席者] (38)中西巖、(43)藤井綾子、後藤吟子、八島文子、(47)村尾禮三郎、湯浅純吉、(48)大木嘉子、(49)原田瑠美、中西登代子、(50)井藤壯太郎、(54)竹広茂子、(57)西村幸子、(61)兼森均、(64)下土居秀樹、(66)木本芳弘、宮加谷靖介、(72)砂古伸二、(73)若山和久、佐藤嘉久、坪浦敏美、(74)内藤晃子、(82)守屋泰祐、(85)栗栖史匡、(95)横谷裕治、(98)奥本知世

〈販売開始予定時期／平成27年2月下旬〉
※本広告については、平成27年2月下旬公開予定のホームページ(<http://dhmsjp/kaminobori/>)にてご確認ください。

ダイワハウスの新築分譲マンション「プレミスト上職町」

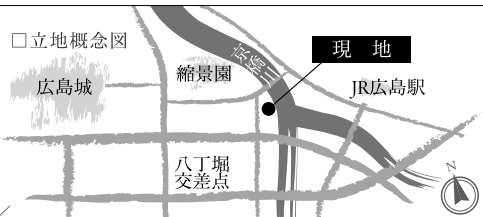
中区上職町七番街区

JR山陽本線「広島」駅(約570m・徒歩8分)／広島城(約1,110m・徒歩14分)／縮景園(約440m・徒歩6分)／八丁堀交差点(約980m・徒歩13分) ※掲載の地図は立地概念図のため、省略している道路、施設等があります。※徒歩分数は80mを1分として算出しています。

資料請求は

ダイワ 上職町 検索
<http://dhms.jp/kaminobori/>

〈事業主・売主〉大和ハウス工業株式会社 本店マンション事業部 中尾祐規(91)
〒530-8241 大阪市北区梅田3丁目3番5号 Tel 06-6342-1940 Fax 06-6342-0907
建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-22)第5279号/宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(14)第245号
(一社)不動産協会会員/(一社)大阪府宅地建物取引業協会会員/(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟



九州発 **第11回九州アカシア会総会・懇親会**



今年に入ってから体調を崩されていた伊藤哲生会長(51回)が治療の甲斐なく9月22日にご逝去されました。伊藤会長のご冥福を心よりお祈りいたします。会長ご逝去の悲しみが冷めやらぬ中

で、10月11日(土)17:00よりANAクラウンプラザホテル福岡にて九州アカシア会第11回例会が開かれました。参加者は30名。アカシア会からは、副会長の吉中康磨氏(50回)、110周年記

念事業実行委員長の本田和哉氏(62回)の参加をいただきました。
 会長ご逝去を受けて新会長の選出が行われ、事務局長の山本哲三(61回)が新会長に選出されました。当面、事務局との兼任で会の運営を行なっていきます。中断している会報の再開、九州各地を巡る九州地域アカシア会の開催など、当面の課題はありますが、九州アカシア会の灯を絶やさぬよう頑張っていきたいと思っております。
 卓話は、特別会員の中村重太先生。「子どもと遊ぶ」と題して科学実験などを交えて楽しい科学の授業を行ってくださいました。まるで学校にタイムスリップしたような懐かしい授業でした。懇親会では、懐かしい母校の話や活躍を続けるカーブの話など、楽しい2時間はあっという間に過ぎました。
 山本哲三(61回)

東北発 **2014年東北アカシア会からの報告**



2014年度の東北アカシア会総会を7月5日(土)17時30分~19時30分、仙台市内のシェルブール(スマイルホテル3F)で開催した。野尻久会長(33回)が療養中のこともあり、出席者は6名-伊藤勝(47回)、八百隆文(53回)、高田豊治(56回)、宮内善浩(81回)、松田

誼(82回)、前場大二(89回)でありました。野尻会長の早期の快癒を願うばかりです。
 伊藤副会長の挨拶に続いて、恒例の講話として、東日本国際大学サッカー部総監督の高田氏に、W杯サッカーを含めて、携わってこられたサッカー人生の四方山話をお願いしました。伊藤副会長がサッカー班キャプテンだったこともあり、伊藤さん、高田さんが在校しておられた当時の附属高校サッカー班の話、最近のサッカー班の状況、高田さんが指導してこられたナショナル

トレーニングセンターJビレッジ、GMとして指導されたサンフレッチェ広島、さらにはサムライジャパン、現在指導しておられる大学サッカー部等々ホットな話題ばかりで、アルコールも進み、大いに盛り上がった講話でした。ホットで興味有る講話をいただいた高田さんに感謝する次第です。
 その後、会員の近況報告などがあり、恒例の校歌斉唱は残念ながら会場の関係で取りやめ、伊藤副会長の音頭で一本締めをして会を終え、その後、有志での二次会は仙台市内某所で開かれました。
 なお、秋期懇親会を2014年11月29日(土)に開催。報告は次回の全国版会報にていたします。
 10月29日記 八百隆文(53回)

「アカシア元教官の会」平成26年度(第23回)総会・懇親会報告



〔第5列〕三宅重徳(英)、井ノ迫泰弘(数)、白神聖也(理)
 〔第4列〕田中泉(社)、酒井秀二(数)、福森信夫(数)、井藤幹治(体)、林昭(数)、有田正志(理)
 〔第3列〕金丸キミエ(体)、山本克子(英)、野中幹夫(体)、松井坦(理)、湯浅清治(社)、鳥井葉子(家)、南村俊夫(英)
 〔第2列〕田鍋薫(英)、世羅博昭(国)、永田龍男(英)、紙田巧(英)、多田保行(英)、有田嘉伸(社)、松井政明(社)、片山一法(数)、太鼓矢晋(社)
 〔第1列〕三浦省五(校長)、小山清(国)、三原千恵(66回)、野地潤家(校長)、岩合一男(数、校長)、景山三平(校長)、三上昭荘(社)、安原義仁(校長)

8月20日(水)、メルパルク広島において、32名が参加して開かれました。総会では、会長の野地潤家先生の挨拶の後、副幹事長の三宅重徳先生による会務報告、会計・監査報告及び慶弔規定の改定が審議されました。また、役員改選がおこなわれ、新会長に岩合一男先生、新幹事長に三宅先生が就任されることなどが決まりました。続いて、三原千恵さん(66回)に「毎日、元気で暮らすために」と題して講話をしていただき、参加者は熱心に聴きました。
 懇親会では、三浦省五先生の挨拶、と乾杯の後、新入会員の白神聖也先生、初参加の林昭先生、井藤幹治先生にスピーチをお願いしました。
 11月5日記 田中泉(66回)

紀州アカシア会



まことに小さな街で、derma dream (古川が会頭を務める2015年の第114回日本皮膚科学会総会のテーマです。5文字を並べ替えて皮膚科の夢を表します。http://jdal14.jp/) が起こりました。

同じ高校(広島大学附属高校)の卒業生が4名集まりました。古川は61回生で和歌山医大皮膚科教授、濱本千晶君は92回生で皮膚科後期研修、前部屋祐子君は(旧姓出来谷、97回生)は和医大附属病院初期研修医で2ヶ月研修、木山泰之君は99回生で大学5年生、2週間の皮膚科ポリクリ中です。平成26年7月7日、derma dream記念に木山君が出演しているデサフィナードという店で会食です。(木山君は大学の軽音楽部でピアノを弾いており、なかなか上手です。この店は時々プレーヤーに解放され、大学生や一般の社会人がジョイントしています。)自由闊達、品位ある医師に成長してください。

7月7日記 古川福実(61回)

メキシコ・アカシア会



中央のマルケス州知事を囲んで、左から江川メキシコマツダ社長、湯崎知事、金井マツダ会長、中谷在メキシコ大使館参事官

アカシア会110周年及び日墨交流年を記念して、このたび、メキシコ・アカシア会を設立しました。会員は江川恵司(62回)、中谷好江(69回)、平見尚隆(70回)の3名だけですが、11月6日、湯崎英彦広島県知事(75回)が、グアナファト州知事と友好連携協定を調印するために訪墨された際、県知事一行に同行された金井誠太在広島メキシコ名誉領事(58回)とマルケス・グアナファト州知事とともに記念撮影をしました。メキシコはここ数年、自動車業界を中心に大変な日本投資ブームで、特に、マツダの工場のあるグアナファト州は在留邦人数も2012年から2013年に倍増し、首都につぐ規模となっていま

す。昨年、駐在企業とグアナファト州の尽力で開設されたイラプアト補習校では、共通語が広島弁といわれています。江川と平見は自動車業界、中谷は大使館勤務ですが、官民連携で日墨・広島グアナファト関係の増進とともに、日本語、広島弁、スペイン語の3か国語を駆使するグローバル人材が育つよう、尽力したいと思っています。

11月24日記 中谷好江(69回)

職域・クラブだより

中電アカシア会の懇親会を開催



10月31日、附属中学校の砂原徹副校長先生を来賓にお招きし、中電アカシア会の懇親会を広島アンデルセン6階デンマークルームにて開催しました。

砂原先生には、リニューアルされた講堂内部の様子やスーパーサイエンスハイスクールの活動状況、体育祭やクラブ活動などをご紹介いただきました。

当日は42回卒業の大先輩から100回の新入社員まで29名の皆様に参加いただき、先生や先輩、後輩の間で会話が弾み、楽しいひとときとなりました。今年度も、58回熊野義夫会長(中国電力顧問)のもと、参加いただいた皆様、開催にご協力いただいた皆様のおかげにより盛会に開催することができました。この場をかりてお礼申し上げます。

11月19日記 谷川精志(73回)

平成26年度県庁アカシア会懇談会



7月18日(金)にホテルサンルート広島で懇談会を開催し、湯崎英彦知事(75回)を含めた26人が集いました。

熊野良樹前会長(64回)からバトンを引き継いだ杉山亮一新会長(75回)の挨拶に始まり、参加者全員が壇上で近況報告を行い、湯崎知事を中心に懇談の

輪が広がりました。

今年度は、新採職員2名を新会員として迎え入れ、64回から100回までの幅広い世代が出席し充実した会となりました。最後は校歌斉唱、今年も和やかなうちに会が終了しました。

今後も会員一同で「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと心から思える広島県の実現」に向けて頑張っていきたいと思います。

11月15日記 木下和敬(81回)

平成26年度アカシア歯科医会総会及び講演会開催



平成26年8月9日(土)台風が迫る広島市内(ホテルニュー広島)において本年度のアカシア歯科医会総会及び懇親会が開催された。出席者29名のうち、80回以降の会員の参加が18名もあり、最年少は100回の学生会員と、大変活気のある会となった。総会ののち、広島大学歯学部教授の津賀一弘氏(69回)には、今後重要な課題となる高齢者に対する歯科医療についてご講演いただいた。続いての懇親会では、参加会員の近況を報告し、学生会員、研修医の先生と開業会員との親睦を深め、今後の歯科医療への貢献を誓い合い、最後は校歌を斉唱して散会した。

山木戸隆子(74回)

アカシアサッカークラブ現役戦・総会開催される



去る6月21日(土)、附属中学との現役戦及び総会が開催されました。最年長の51回林道義さんをはじめ、総勢15名のOBが母校グラウンドに集合し、天候にも恵まれ世代を超えていい汗が流せました。OBは若手とベテランの絶妙のバランスで、54回横手靖吾先輩の好セーブも随所に見られましたが、試合は0対5の大敗でした。悔しい反面、中学生のシュート力に頼もしさを感じることができました。

同日夜、20名出席のもと、総会と懇

親会が開催されました。総会では役員改選があり、野村尊敬会長(50回)、先本賢司代表幹事(71回)が再任しました。懇親会では小城得達先輩(51回)の乾杯ご発声後、和気藹々の雰囲気の中で、先輩方からユーモア溢れるスピーチもいただき大いに盛り上がりました。 6月21日記 先本賢司(71回)

**アカシアサッカー班
三校戦東京開催**



10月12日、東京で三校対抗OBサッカー大会(国泰寺・修道・附属)が開催されました。広島では毎年恒例のこの大会も東京では久々の開催で、62回池森俊文先輩が検見川の天然芝グラウンドを確保してくださり実現したものです。51回木原洋二先輩、54回中山裕登先輩、57回生野隆先輩、森岡繁男先輩のパワフルな60歳オーバーの先輩方から80回までのサッカー班OBに加え秘密兵器72回梅田靖子さん(女性)を投入、総勢17名のメンバーで臨みました。堅い守りで修道に2-0と勝利し、国泰寺には0-1と敗れたものの優勝の可能性が残っていたのですが、国泰寺対修道戦で国泰寺が残り1分に1-1と追いつき、劇的に優勝をかっさらわれました。

懇親会にも三校計50名超が参加し、サッカーのゲーム以上に盛り上がり、貴重な交流の場となりました。

10月12日記 前田慎一(72回)

野球班OB戦報告



8月14日、例年通り母校グラウンドにおいてOB戦を行いました。

年々参加者が減少する中、写真をご覧いただいておりますように、今回は2チームに達しませんでした。そこはさすが附属OB。

知恵を出し合った結果、「外野手の

代わりにネット」を置いて「リアル野球盤」方式を採用。

「ネット」はエラーをしないのでかえってテンポのいい、締まったゲーム展開となりました。

ピンチをチャンスに、転んでもただでは起きない野球班らしさが発揮された今年のOB戦でした。

西原利典(73回)

アカシアバレー班OB・OG会開催



10月12日(日)昼の部は附属の体育館にOB・OG25名と現役男女21名が参集し、恩師中本先生が附属就任当時の話をされ、会からはボール5個を贈呈しました。試合らしきものもして、現役には良い刺激になったようです。

夜の部はリーガロイヤルホテル広島で、中本薩雄先生・片山一法先生・金丸キミエ先生・笹原豊造先生・青木基容子先生と46回から94回のOB・OG72名が参加し、田中嘉文氏(52回)の乾杯で幕開けしました。歓談の後スライド写真でバレーボール班の歴史を振り返り、若き頃の雄姿を見て世代を超えてバレーボールを通じた絆を感じるひと時となりました。二次会も58名参加と最高に盛り上げる秋の夜会となり、次回の再会を期して散会しました。

10月19日記 寄田誠司(70回)

アマチュア無線班OB会開催



JA4YBRアカシアHAMクラブは、無線班創立以来51年連続参加となる、日本アマチュア無線連盟主催FDコンテストに合わせ、8月2日～3日に「野呂高原ロッジ」でのOB会を開催。我々が聖地野呂山に、松井坦先生、全国各地から参加の61～81回計10名が集いました。土曜夕方からの雨模様の中、明るいうちに屋外での合羽を着てのアンテナ設営をなんとか完了。その後は

宴会&無線モードに突入です。電波状態は今一つで競技会スコアは伸び悩みましたが、高校夏合宿のエピソードを思い出しながらの夜の宴会は大盛況でした。雨中の設備撤収後、屋内で写真撮影し、次回の再会を約束して下山しました。来年も盛り上がりましょう。

11月20日記 手島由裕(74回)

山岳班OB&OG会

去る2014年8月17日(日)に広島駅銀座ライオンにて山岳班OB&OG会を3年ぶりに開催いたしました。今回は59回生～95回生の計13名が参加され、男女とも幅広い年齢層で集まることができました。世代は皆異なりますが、登山の美しさや楽しさや苦しさを経験している仲間なので昔の登山話で大いに盛り上がりました。

また、参加できなかった方からの近況報告も行うことができ、当時の仲間を懐かしむ場面もあり、現在でも登山やパラグライダー、登山文集などアウトドアを楽しまれておられる様子を共有することができました。

現在、山岳班は廃部となりましたが、今後はOB&OG会を活動の場として盛り上げていきたいと思えます。

11月19日記 栗栖史匡(85回)

アカシアアーチェリー班OB会



8月13日(水)に広島在住のOB有志が約15年振りに集いました。事前の準備不足もあり参加者は少数でしたが、77回～85回のメンバーの近況報告、昔の部活の思い出等に盛り上がり、「他班に負けず我がアーチェリー班も！」とOB会復活準備を開始したところです。

元顧問の室長大應先生、田中泉先生(66回)と80回生が中心となり結成したOB会も近年目立った活動はありませんでしたが、2015年中を目標に「久しぶり」にOB交流会を開催したいと思います。

後日ご案内いたしますが、多くのOBの方にご参加いただけたらと思います。

【連絡先】

k.kino.acasut-arc@hotmail.co.jp

11月15日記 木下和敬(81回)

同期会だより

平成26年度アカシア49同期会



毎年開催県を変えて続けている同期会だが、名古屋飛ばしがばれて2名の幹事でお世話することに相成った。

台風19号がこの地を通り過ぎて1週間後の10月19日(日)の昼過ぎに名古屋駅に集合、午後は徳川美術館と名古屋城を見学(23名)。名古屋まつりの最終日と重なり、本丸御殿へは閉殿間際に時間をずらして何とか見学出来た。

夕方から名古屋マリオットアソシアホテルで懇親会(36名)。51階からの眺望を楽しみながら宴は盛り上がった。最遠方大分から参加の山田(西丸)直子さんの乾杯発声で始まり3名がスピーチ、その中の時の人・竹鶴寿夫君には今注目の朝ドラ“マッサン”のことを…。マッサンの生家を引き継いでいる本人の話とあって興味津々に聞き入った。後半は音楽会、林(奥出)敏子さんの日本の歌独唱に始まり高校三年生、校歌、学生歌の大合唱で当時が懐かし

く思い出された。懇親会後は最上階52階のスカイラウンジで二次会。夜景を見下ろしながら久しぶりの会話がはずんだ。翌日は有志23名による伊勢神宮参拝。式年遷宮の翌年に当たる今年の参拝は“おかげまいり”と言われ特に御蔭を授かるとか。外宮・内宮の両参りとおかげ横丁にも寄って無事帰路に就いた。 11月5日記 山中元則

アカシア63回還暦同窓会

アカシア会63回還暦同窓会



60歳を迎える今年、7月19日、リーガロイヤルホテル広島にて還暦同窓会を開催。九州、中四国、関西、関東から60名(内県外28名)が集合。卒業アルバムの写真と「あの素晴らしい愛をもう一度」の音楽映像が大画面に映し出され、全員が学生時代にタイムスリップ。恩師松井坦先生、多田保行先生からお言葉をいただき、静岡の広瀬節雄先生のビデオレターと、母校の学校説明会用ビデオを大画面で披露。乾杯までになんと1時間が経過、恩師も交えて皆で大歓談と、あっという間の2時間。110周年の集合と次回同期会の再

会まで「元気で」を締め言葉として、ほとんどが2次会へ。久々に、ハチャメチャだった63回生の存在を再確認。 10月10日記 陰山秀明

アカシア74~卒後30年記念合宿



卒後30年の今年、同期会が1泊旅行の企画となり、7月19・20日に同期生のご縁もあって湯来ロッジにて開催されました。福島県から大分県まで各地から38名が参加、30年ぶりに会う人もいる中、一気に修学旅行と化しました。皆記憶がそろそろ曖昧になりかかっていたところ、校歌が歌えてほっとし、当時の手書きのプリントや写真に感動し、たくさんの思い出話をして30年若返り、当時の先生方のご苦勞を知り、同級ならではの現在の苦勞の分かち合いができました。帰途には増田(森野)知子さんの取り計らいで母校に寄らせてもらい、美しい講堂、変わらぬ体育館、渡り廊下の眺めに30年彼方の私たちの声を聞いていました。

広島の皆様、ご企画感謝します。また還暦手前で皆様にお会いできますように。 10月7日記 中川純子

アカシアライブラリー (2014年7月~11月) 寄贈資料の紹介 (敬称略・受付順) 太字は寄贈者

- 資料のご提供ありがとうございます。
- 写真「54回生卒業50周年記念同期会」 (54) **鈴木正道**
- 美甘章子(70回)著「8時15分〜ヒロシマで生きぬいて許す心」(「RISING FROM THE ASHES」日本語訳本) (70) **二宮かおる**
- 冊子1967から1971年の「うごき」「流れ」「附高入門」「学校祭パンフレット」 (63) **江島まゆみ**

- 57回卒業生文集「アラ古希同窓会記念文集~それからの私」(57) **中村 英**
- 中村 英(57回)編集DVD「アカシア57あら古希~前夜祭からの写真集とお宝写真」(15頁ミニギャラリーに写真掲載) (57) **中村 英**
- 中村英(57回)撮影DVD「全国高校選抜オーケストラフェスタ第17回~第20回」 (57) **中村 英**
- 高知県立高知追手前高等学校昭和27

年卒業「長流水~卒業60周年記念文集」(被爆とともに広島から離れ不明となっていた植野(中澤)氏に2013年41回生が再会、植野氏の卒業した追手前高校同窓会発行の文集) (41) **植野克彦**



2015年版会員名簿 広告主一覧(94件) ご協賛ありがとうございます。

【同期会】アカシア41期会、46回卒業生有志一同、アカシア56回同期会、アカシア62回、62回三金会、アカシア65回、【職場アカシア】アカシア歯科医会、中国電力アカシア会、県庁アカシア会、【クラブアカシア】アカシア仙人ゴルフ会、広島大学附属高等学校野球班OB会、アカシアサッカークラブ、【企業・個人(卒業回順)】(株)大本組、長沼商事(株)、広島管財(株)、島外科内科、(株)大之木ダイモ、(株)東広島ケーブルメディア、賀茂鶴造(株)、(医)岩国病院、(医社)日域医院、萬国製鉄(株)、(株)大方工業所、日の丸産業(株)、メガネの田中チェーン(株)、特別養護老人ホームたちばな苑、井藤壯太郎、(株)立芝、(医社)博愛会、(株)紀陽、(株)合人社計画研究所、アイトフース(株)、馬場則行、(株)さくら保険企画、新中央工業(株)、大和重工(株)、(医社)桃李会平和の里、広島運輸(株)、横手靖吾、(株)ダイナミクス、慶友整形外科、(医)わかば会岩本内科医院、(医)翠和会養神館病院、東洋紙業高速印刷(株)、(株)中国新聞社、有限会社敬愛ファーマシー、(株)シティガス広島、(株)天昌、マルニヤ(株)、ひろしま交流協同組合、吉元徹也、有限会社丸益西村屋、井藤矯正歯科、産婦人科長尾クリニック、(医社)俊幸会中川外科胃腸科、(株)広島東洋カーブ、(株)みづま工房、(株)いまだ、(医社)曙会佐々木外科病院、(株)感性舎、松本峰人、(株)シンコー、延近正章公認会計士事務所、山陽工業(株)、(株)山縣本店、(株)アルツト、(医社)祐和会大石クリニック、ニットハウス(株)、さんもく工業(株)、(株)マツマ、つばめ交通(株)、(医社)楓会林病院、(株)融合事務所、シンセイ(株)、(医)わかみやメンタルクリニック、ウエノヤビル(株)、藤元内科ファミリークリニック、むぎ耳鼻咽喉科医院、D. P. C. 第一入力センター、畑秀樹税理士事務所、(株)部谷工務店、カルビー(株)、熊野税理士事務所、(株)広重カーブス事業部、(医)隅田耳鼻咽喉科医院、広交グループ協同組合、往診歯科おだ、(医社)英ウィメンズクリニック、備北ななつか病院、(株)福屋、堀口海運(株)、(株)千葉物流倉庫、(株)島屋、(株)たきのぼり不動産

九鬼智子(88回)さんからのご紹介



ギングと休日も精力的に動くようにしています。高校から入学しバスケット、応援団、保健室通い、浪人中に築いた人脈がベースとなり、いまでもアカシアネットワークが広がっています。東京でも先輩や後輩ともよく飲み会やカープの応援やゴルフなどで仲良くしてもらっています。

④一緒に野球観戦や飲みに行かせてもらっています。今年注目を集めたカープ女子！

- ① 永井 隆理(87回)
- ② 東京都世田谷区
- ③ テレビCMに関する調査、分析、コンサルティングを行う会社に勤めています。フットサル、ゴルフ、登山、ジヨ

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。たくさんです。

出てもうってま
ええかいのま

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方との関係

会員リレー紹介 93

和泉 眞(53回)さんからのご紹介



娘と息子と三人の孫と、楽しく過ごしております。趣味は、お茶(表流)、次に、バレエポールを未だ続けております。自慢は、広島県の実業婦人の六十歳以上の全国大会へ県代表として、出場したことでしょいか！バレエは、何時まで続けられるかわかりませんが、お茶は、もう少し楽しむつもりです。

④ 憧れの素敵な先輩です。私の事をマドンナと呼んで下さる奇特な？存在です。

- ① 小川(於保)玲子(50回)
- ② 広島市南区
- ③ 二年前に、夫を亡くして、直後大病も致しましたが、アカシアの友人たちに励まされ、今は、

アカシアミニギャラリー作品募集中です。

平成26年7月、会報全国版でお知らせしました「アカシアミニギャラリー」はアカシア会員のみなさんでつくる、手造りギャラリーです。絵画、写真、マンガetc. なんでも出展OKです。

それではさっそく49年前に起きた、附属校舎水没のお宝写真をお目にかけてみます。写真を所蔵していたのは、当時高校3年の中村英君(57回)です。それは昭和40年6月25日(金)に起きました。朝登校すると、構内全体が水浸しとなっているではありませんか。なんと、磯村陽治君(57回)が誇らしそうに掲げているのは、どこから来たのか、1匹の魚です。半世紀前にはこのような珍奇なできごともあったのです。

投稿者 佐々木隆雄(57回)

みなさんも奮って投稿ください。

アカシア会事務局

TEL/FAX 082-253-5581

メール akashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp



事務局だよ

◆7月・1月の全国版会報発送は、月例会下幹事の82回生を中心に、75、76、81、83回生の皆様にお手伝いいただきました。ご協力に感謝します。(↓写真は昨年7月号発送の様子)



◆アカシア会会員数(1~104回)
(2014年11月30日現在・単位：人)

	人数	男性	女性
会員数	15,625	10,564	5,061
現存者	11,284	6,721	4,563
不明	1,187	846	341
物故者	3,154	2,997	157

計 報

(2014年7月以降判明)

24回卒	角井 勉様	平成24年9月19日
34回卒	横山 清様	平成26年2月25日
34回卒	田中 裕様	平成26年6月14日
38回卒	多々 浩爾様	平成26年2月7日

39回卒	木村 淳邦様	平成26年8月20日
41回卒	松本 卓司様	平成26年6月30日
41回卒	福原 貞喜様	平成26年7月28日
42回卒	三村 博昭様	平成26年7月20日
42回卒	立川 洋二様	平成26年8月20日
42回卒	白井 成雄様	平成26年11月7日
43回卒	黒田 昭夫様	平成26年11月2日
44回卒	田中 昌裕様	平成25年10月27日
45回卒	河村 隆弘様	平成26年6月25日
49回卒	西本 雄一郎様	平成26年9月5日
51回卒	伊藤 哲生様	平成26年9月22日
53回卒	江副 正登様	平成26年5月29日
55回卒	友田 民義様	平成26年10月29日
69回卒	竹内 重喜様	平成26年8月20日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

12月例会レポート

開会挨拶は吉中康磨広島アカシア会
会長(50回)。「雪の中ありがとうございます
です。今年最後の卓話は狂言方の松
本さん。笑いで納めましょう！」

「大声で笑ってみましょう」
松本 薫氏 (59回)



狂言が生まれたのは室町時代初期。
和泉流と大蔵流の2流派のうち、大蔵
流の茂山千五郎家に所属してしま
います。

京都から懐かしい広島への移動は時
間がかかりますが、狂言の登場人物は
「瞬間移動」いたします。舞台上で「こ
れより広島へ参ろうと存ずる」と言い、
すっと左を向いて「はやアンデルセン
へ着いた」と言えば、もう到着する。
このように簡単な身体の動きと言葉で
様々なことを表現します。

■狂言の笑いについて



松本氏を囲んで59回生の皆さん

最も大切な技術が「笑い」です。皆
様も笑い方を覚えて下さいね。(松本
氏、笑い方を披露。参加者「はっはっ
はっはっ!」)狂言の「笑い」は、前か
がみになり、楽しさや嬉しさを独り占
めしようとして押し戻され、身体の中
心から宇宙全体に楽しいエネルギーが
無限に広がっていくイメージです。

■芸能における笑い

神話には、太陽神アマテラスオオミ
カミが「天の岩戸」に身を隠し、世界
が闇に閉ざされる場面が記されていま
す。復活を願う八百万の神々は岩戸の
前で宴を催し、女神の乱舞に大笑い。
その様子にアマテラスが姿を現し、再
び世界に太陽の光が満ちます。神々が
祈りを込めて真剣に笑い、その顔を岩
戸から射す光が照らしたのです。狂
言の世界で「顔＝面(おもて)」。つま
り神々の面が光で白く輝いたことから

「面白い」という言葉が生まれたそう
です。楽しさや面白さから笑ったので
はなく、「笑い」から湧き上がる感情が
表情に表れ、幸せを導いたわけです。
そのような導きをもたらすのが、笑い
の芸能＝狂言の果たすべき役割だと
思っています。

懇親会

乾杯の音頭はアカシア会会長 向井
恒雄氏(50回)。「松本さんに良い笑い
をいただきました。笑顔で希望を持っ
て年を越せそうです！」

ビンゴ大会は、諸先輩からたくさん
の豪華賞品をご提供いただき大盛況。
ありがとうございました。

12月17日記 松岡千映(82回)

12月例会出席者(敬称略72名)

- (41)菊地日朗、(43)後藤吟子、(44)伊藤隆子、(47)湯浅純吉、
- (50)井藤壯太郎、小川玲子、向井恒雄、吉中康磨、(51)上玉
- 康弘、(54)田中保昭、(57)神島京子、天島純子、(59)赤川陽
- 子、安藤一二、大森博美、小谷幸生、白井孝司、進藤多万、
- 高橋光枝、竹内啓一、田島正敏、田中文明、田中裕二、中丸
- 裕、中本孝子、原田正人、松本薫、三好新、(62)一ノ瀬厚、
- 本田和哉、(63)安藤伸子、甲斐 稔、堤良子、(65)谷田部広志、
- (67)高橋浩一、高橋裕子、(68)平尾 真、(72)古本小美、(76)
- 赤壁正樹、後田由貴子、大下洋嗣、岡田美香、後藤佳恵、永
- 野智恵、松浦勇人、宮井ふみ子、渡辺由恵、(77)金子 恵、(80)
- 大上はるみ、沖山二郎、加用雅信、菅 裕、瀧川雅子、中尾
- 涼子、花岡伸明、堀口悟史、(81)木下和敬、吉田 誠、(82)
- 大谷裕創、片山祐輔、楠田朋代、新矢晃子、中田 宏、平田
- 裕美、松岡千映、齋 聡子、吉井良平、(84)神島 静、(85)栗
- 栖史匡、光井俊明、(95)横谷脩治、森原龍也

会報編集委員会報告

平成26年8月30日、アカシア会館にて、甲
斐稔事務局長(63回)をゲストにお招きし、下
期会報編集会議を開催しました。110周年記
念事業の広報と連携し、読者の皆様に喜んで
頂ける紙面づくりを目指し、長時間に及び議
論しました。

主な議題は、①110周年記念事業について、
②下期月例版掲載計画立案、③1月号全国版
掲載計画立案。

上期に引き続き、会員の皆様にご登場いた
だくコーナーも用意しますので、御協力下さい。

また、当委員会
に参加されたい方
は是非、ご連絡下
さい。



後列左より、京極佳子(81)、吉野かおり(79)、森川真吾(79)、大田
陽子(74)
前列左より、佐々木隆雄(57)、中本泰弘(65)、甲斐稔(63)

月例版会報は毎月発行!! ぜひご購読を

1月と7月発行の全国版会報は全会員の皆様にお送りしていますが、それ以外の月にも月例版会報を発行しています。年間購読料2,000円をお支払いいただければ、1月と7月を除く月にも会報をお届けします。購読のお申込みは、アカシア会ホームページ <http://www.acacia100.net/> から、または、お電話(082-253-5581)、Eメール akashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp にてお願いします。

浩然の気

金丸キミエ先生、正田實先生、長谷川滋成先生、
河野令二先生、有田嘉伸先生
出てもらうてもええかいのお

梶川拓也(82)→景山泰考(89)→藤井宏水(88)→楠原充也(87)→原(土井)真里亜(95)→野坂龍
太(85)→亀田さおり(87)→加藤俊輔(86)→畠山隆雄(85)→石原直子(82)→桑田紗瑛(91)→九
鬼(大久保)智子(88)

浦邊胡桃(99)→大久保重伸(80)→豊田(木谷)理佐(79)→藤井一成(77)→安藤輝彦(55)→平野
建二(55)→西亀(平野)美鳥(47)→高木(谷重)香代子(48)→吉岡(森下)圭子(46)→高橋正光
(46)→田中保昭(54)→和泉(山村)真(53)

ピバ!アカシアカップル

森田慎司(93)・智世(93)、村上一郎(66)・桜子(66)、山内和彦(68)・輝志子(68)、岡島正純(64)・
めぐみ(67)、秀道広(66)・和泉(67)、白野康之(83)・麻里子(83)、篠崎正彦(86)・陽美(89)、
北野真(88)・紘子(88)、田中千秋(44)・厚子(48)、上垣内康夫(57)・久美子(57) (敬称略)

平成26年1月号から12月号
までにご登場いただいたの方々
です。

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL(082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町1-12-9
TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
飲みの歌 辛きその日も